

名古屋市で大型自動
運転バス実験に参画



オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、名古屋市が実施する大型自動運転バスの実証実験に参画している。同実験では、ガイドウェイバス専用道（高架区間）の幅員や急カーブを部分的に再現した市所管の守山南部処分場管理通路約600mを実験区間として、自動運転レベル2の大型自動運転バスを走行させる。これにより、車両制御の精度を検証する。同社は実証実験の計画と実験結果の評価を担当する。

実験期間は16日から27日まで。24、25日には一般市民向けモニター試乗も行う。

市は、ガイドウェイバス志段味線（ゆとりーとライン）で自動運転技術を活用した新たなシステムの導入を検討しており、その一環で実験を続けている。